

第 3 3 号様式（第 1 4 条関係）

特定供給設備の技術上の基準に関する説明書

（バルク供給を除く）

特定供給設備所在地	※ 図面添付
貯 蔵 能 力	K g

項 目	条 項	対 応 事 項			
保 安 距 離	規則53条		法 定	実 際	緩和の必要性
	1号 イ	第 1 種	m	m	有 無
	2号 イ	第 2 種	m	m	
保 安 距 離 緩 和	1号 ロ 2号 ロ	障 壁 ☐ コンクリートブロック ☐ 鉄筋コンクリート ☐ その他 () ※ 図面添付 ☐ 地盤面下に埋設			
火 気	1号 ハ 2号 ホ	火気との距離 m 隔壁 ☐ 無 ☐ 有 ※ 図面添付			
滞 留 防 止 措 置	1号 ニ	換気口 必要面積()m ² ※ 図面添付 実際面積()m ² ()%			
さ く ・ へ い 等	1号 ホ 2号 ト	構 造 ☐ ボンベ小屋 ☐ フェンス ☐ その他 () ※ 図面添付			
警 戒 標	1号 ヘ	☐ L Pガス特定供給設備 ☐ 燃 ☐ 火気厳禁 ☐ 販売所の名称			
防 消 火 設 備	1号 ト 2号 ム	消火器 (A－ B－) 本 ☐ 散水設備 ※ 図面添付			
屋根又は遮へい板	1号 チ	材料 () ※ 図面添付			
転 落 転 倒 防 止	1号 リ	方法 ()			
容器腐しよく防止	1号 ヌ	☐ 排水の良い場所に設置			
保安物件の密集	2号 ハ	☐ 貯槽を地盤面下に埋設。			
貯 槽 地 下 埋 設	2号 ニ	☐ 貯槽室 ☐ 乾燥砂 ☐ 水没 ☐ 強制換気 ☐ その他 () ☐ 貯槽の頂部は30cm以上地盤面から下にあること。 ☐ 貯槽間距離 ()			
貯 槽 間 距 離	2号 ヘ		法 定	実 際	緩和の必要性
		距 離	m	m	有 無
		☐ 水噴霧装置			
表 示	2号 チ	☐ 液化石油ガスである旨の表示。			
使 用 材 料	2号 リ	☐ 使用材料は適正なものであること。			
腐しよく・割れ等	2号 ヌ	☐ 貯槽には使用上支障のある腐しよく、割れ等がないこと。			

腐しよく防止措置	2号ル	腐しよく防止の方法（ ）		
不同沈下の防止	2号ヲ	☐ 貯槽の基礎は、不同沈下等により有害なひずみが生じないものであること。 ☐ 同一の基礎に緊結。		
耐 圧 ・ 気 密	2号ワ	☐ 貯槽は、常用の圧力の 1.5倍以上の圧力で行う耐圧試験及び常用の圧力以上の圧力で行う気密試験に合格するものであること。		
肉 厚	2号カ	☐ 貯槽は、常用の圧力の 2 倍以上の圧力で降伏を起こさないような肉厚を有するものであること。		
圧 力 計 ・ 安 全 弁	2号ヨ	☐ 圧力計・安全弁の設置		
放 出 管 開 口 部	2号タ	☐ 周囲に着火源等のない安全な位置であること。 ☐ 地盤面から（ ） m ☐ 貯槽の頂部から（ ） m		
液 面 計	2号レ	液面計の種類（ ） ☐ 破損防止措置 ☐ 自動式及び手動式の止め弁の設置		
バ ル ブ	2号ソ	☐ 2 以上のバルブを設け、一は貯槽の直近に設けること。		
緊 急 遮 断 装 置	2号ツ	操作場所（ ） 距離 m		
冷 却 用 散 水 装 置	2号ネ	☐ 冷却用散水装置の設置 操作位置距離 m ※図面計算書添付		
漏 え い 検 知 警 報 器	2号ナ	検知箇所 箇所 ※図面添付		
静 電 気 の 防 止	2号ラ	☐ 貯槽には、静電気を除去する措置を講ずること。		
バ ル ブ 操 作	2号ウ	☐ 開閉方向の明示 ☐ 開閉状況の明示 ☐ 流体方向の明示		
耐 震 設 計	2号キ	☐ 耐震設計の基準により、地震の影響に対して安全な構造とすること。		
自 動 切 替 装 置	3号	☐ 自動切替調整器 ☐ その他（ ）		
発 生 能 力 等	18条 4号	☐ 貯蔵設備は最大使用数量に対応するものであること。 ☐ 気化装置及び調整器は最大消費数量に対応できる能力があること。（規格は別表）		
腐しよく・割れ等	5号	☐ バルブ、集合装置、供給管、ガス栓は、使用上支障のある腐しよく・割れ等がないものであること。		
腐しよく防止措置	6号	名 称	使用材料	腐しよく防止の方法
		バルブ		
		集合管		
		供給管		
		継手類		
使 用 材 料	7号	前表のとおり		
耐圧性能	高圧側	8号イ	☐ 2． 6 MPa以上であるもの	
	中圧側	8号ロハ	☐ 0． 8 MPa以上であるもの	

引 張 り 強 さ	8号ニ	☐ 1 K N以上であるもの			
集合装置等の修理	8号の2	イ ロ ハ	☐ 漏えい防止措置を講ずること。 ☐ 漏えいしていないことを確認をすること。 ☐ 修理終了後、漏えい確認をすること。		
漏 え い 試 験	10号	☐ 漏えい試験に合格するもの			
気 化 装 置	19号	イ	☐ 腐しよく、割れ等がないもの		※ 図 面 別 添
		ロ	☐ 2 . 6 MPaの耐圧試験に合格するもの		
		ハ	☐ 加熱方式（ ）		
		ニ	☐ 液状のガス流出防止措置のあるもの		
		ホ	☐ 凍結防止措置のあるもの		
調 整 器 (2次側有・無)	20号	イ	☐ 腐しよく、割れ等がなく使用する液器石油ガスの規格に適合したものであること。		
		ロ	使用箇所	耐圧試験圧力	気密試験圧力
			1次側	☐ 2 . 6 MPa	☐ 1 . 5 6 MPa
		2次側	☐ 0 . 8 MPa	☐ 0 . 1 5 MPa	
		ハ	☐ 調整圧力 KPa ～ KPa ☐ 閉そく圧力 KPa		
緊 急 遮 断 装 置	21号	☐ 供給管と接続した貯蔵施設ごとに、これに近接して緊急遮断装置を設置すること。 ※図面添付			

設 備 の 種 類		規 格 等		
貯蔵設備	容 器	設置数量 () Kg容器 × () 本 () Kg容器 × () 本		
	貯 槽	公称貯蔵量 () トン 設計圧力 () MPa 内容積 () m ³ 製造番号 () ※図面添付		
気 化 器		型式 () 処理能力 () Kg／H 製造番号 () 製造年月 () 年 () 月		
調 整 器		区 分	1 次 側	2 次 側
		型 式		
		処 理 能 力	Kg／H	Kg／H
		製 造 年 月	年 月	年 月

(記載要領)

1. 該当しない欄は抹消すること。
2. 対応事項は、必要によって別紙に説明書を添付すること。
3. 該当する□には✓を付し、（ ）には数値又は説明を記入すること。